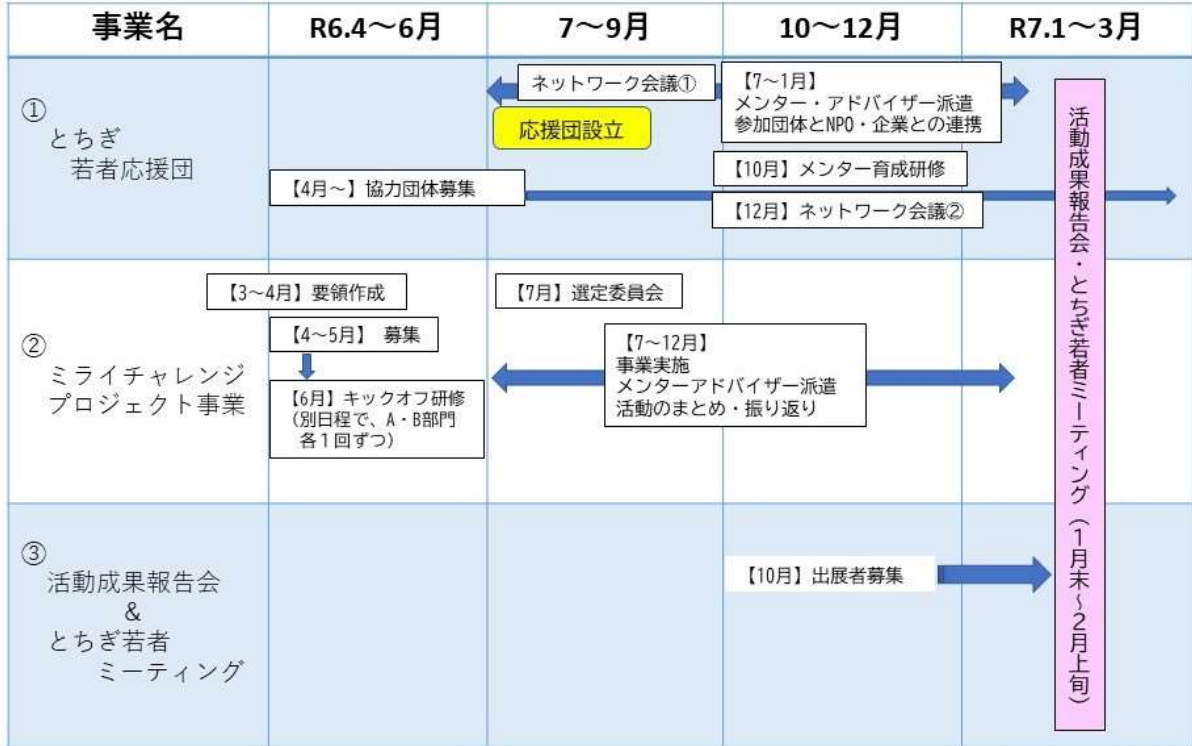


実施概要

1 実施概要

(1) 構成及び想定スケジュール



(2) 本事業で対象とする「若者」及び「若者グループ」

「若者」は、高校生から社会人等（29歳以下の者）とし、「若者グループ」は、当該「若者」が主体となって活動しているグループとする。

2 実施計画

(1) とちぎ若者応援団に係る業務

若者の「新しいとちぎづくり」への参画推進するとともに、その主役となる若者リーダーの育成を行うほか、オール栃木で若者の活躍を応援する機運の醸成を図るため、県や公益財団法人とちぎ未来づくり財団（以下「未来づくり財団」という）、市町、企業、NPO、地域づくり団体などの関係団体で構成する「とちぎ若者応援団」を構築し、若者の活動を継続的に支援する。

未来づくり財団が実施するミライチャレンジプロジェクト事業へのメンターやアドバイザーの派遣、ミライチャレンジプロジェクト事業に参加する若者団体や活動の支援等を希望する個人・団体に対し、継続的なメンター派遣を可能とするために実施する「認定メンター育成研修」、若者個人や団体の相談対応（活動に対する助言、活動フィールドやフィールドワーク先の紹介、アドバイザーやメンターの派遣、協働事業の提案や関係団体とのマッチング等）を行う。

① とちぎ若者応援団の構築・ネットワーク会議の開催

県や未来づくり財団、市町、企業、NPO、地域づくり団体などの関係団体で構成する「と

ちぎ若者応援団」を構築し、若者団体による事業や若者と企業・NPO・関係団体等（以下「企業等」という）との協働事業に関する事例発表、若者と参画企業等との交流を促進する分科会等を行うネットワーク会議を開催する。とちぎ若者応援団に参画する企業等の募集や未来づくり財団が実施するミライチャレンジプロジェクト事業へのメンター・アドバイザーの派遣、活動の支援を希望する若者の相談対応業務を実施する。

② 認定メンター育成研修

若者団体の活動を促進するために、伴走支援を行うメンターを育成するための研修を実施し、多様な主体と協働するため必要となる知識やコーディネートスキルの習得を図る。

対象者	ミライチャレンジプロジェクト参加者、本研修の受講を希望者する若者
実施回数	1回

③ 若者による活動のサポート業務

若者が主体となって行う活動に対する相談対応（個人や団体の相談対応（活動に対する助言、活動フィールドやフィールドワーク先の紹介、アドバイザーやメンターの派遣、協働事業の提案や関係団体とのマッチング等）を行う。

対象者	ミライチャレンジプロジェクト事業参加団体を除く若者（個人及び団体）
件数	10団体程度を想定

(2) ミライチャレンジプロジェクト事業に係る業務

未来づくり財団が実施する若者を対象とした県との協働による県政課題解決や、企業等のCSR活動に関連しビジネスの視点を取り入れた企業等との協働事業（プログラム・商品開発等）により、県政への参画機会の創出や若者の活動の裾野拡大、若者を応援する機運の醸成を図る。

A：県政課題部門と B：特定テーマ部門を設定し、Aについては県との協働による県政課題の解決に向けた提案や実践を行う。Bについては、若者の社会貢献をしたいという思いと企業等のニーズ（自分たちの事業に対する興味・関心を高め、若者ならではの発想・アイデア、チャレンジする行動力等を取り入れたい等）をとちぎ若者応援団がマッチングし、ビジネスの視点も取り入れながら、企業等が設定するテーマに沿った新たな提案・実践を行う。

① 募集テーマ及び活動費の助成 ※未来づくり財団主催事業（予定）

以下のテーマに参加する若者団体を募集し、選定された団体の活動に対し、助成を行う。
（上限 10 万円）

A：県政課題部門（7件）

県政課題の解決（地域づくりに関するテーマも含む）や青少年の健全育成に関するテーマに関して、県との協働により課題解決に向けた提案や実践を行う。

B：特定テーマ部門（3件）

若者の社会貢献をしたいという思いと企業等のニーズ（自分たちの事業に対する興味・関心を高め、若者ならではの発想・アイデア、チャレンジする行動力等を取り入れたい等）をとちぎ若者応援団がマッチングし、ビジネスの視点も取り入れながら、企業等が設定するテーマに沿った新たな提案・実践を行う。

対象者	高校生から 29 歳以下の若者と企業等で組織した団体
募集期間	4 月～5 月

② キックオフ研修

事業実施にあたって必要となる知識を身につけ、企画案及び予算書等の作成のほか、企画会議を行う研修を実施する。

実施回数	A・B部門各1回
実施時期	6月

<研修イメージ>

A：県政課題部門

- ・ 県政課題への理解、先進事例紹介
- ・ 取組の方向性の検討・整理（ワークショップ等）
- ・ ゴールイメージの設定と手立ての検討
- ・ 事業計画・予算計画の作成

B：特定テーマ部門

- ・ 若者と企業等との協働事業実践事例紹介
- ・ 参加団体とテーマ設定企業等との意見交換・交流
- ・ 事業内容の決定及び事業計画・予算計画の作成

③ 選定委員会 ※未来づくり財団主催事業（予定）

ミライチャレンジプロジェクト事業に参加する団体の選考を行う。

対象者	ミライチャレンジプロジェクト事業参加希望団体
実施時期	7月

④ アドバイザー・メンターの派遣、伴走支援

選定された若者団体を対象に、各団体の活動に対してアドバイザーによる専門的な立場からの指導・助言等やメンターによるサポート・助言、方向性の修正等、継続的な伴走支援を行う。

実施期間	7月～12月
実施回数	1団体あたりアドバイザー2回、メンター2回の派遣

⑤ 活動成果報告会&とちぎ若者ミーティングの開催 ※未来づくり財団主催事業（予定）

ミライチャレンジプロジェクト事業に参加する若者団体の活動成果報告会の開催や、活動を始めるきっかけを求めている若者、活動への意欲が高い若者、企業等とのネットワークづくりや協働を希望する若者団体と企業等との出会いの場（交流会）及びそのためのブース出展等を行うとちぎ若者ミーティングを実施する。

参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミライチャレンジプロジェクト事業参加団体 ・ 県内の中・高校生から社会人（13歳～29歳） ・ 県内の学生団体、若者と協働したい企業等
ブース	県内の学生団体、NPO、企業、青少年関係団体等